



未来共生デザインセンター 2024年度末公開成果報告会

2025年

3月5日



13:30 ~ 17:10

三田キャンパス 南館 地下4階
ディスタンスラーニング室

- ・開会の挨拶 梅田 聡（社会学研究科委員長）

第1部 人間知性クラスター （座長：峯島 宏次） 13:35~14:35

- ・ Why Sympathy Matters in Scientific Research: Hume's Point of View 高萩 智也（本センター）
- ・ 内受容感覚トレーニングについて 寺澤 悠理（文学部）
- ・ 言語モデルと規範的推論：論理と思考の視点から 小関 健太郎（東京大学・本センター）

第2部 環境適応性クラスター （座長：河野 礼子） 14:50~15:50

- ・ 道具の長期使用練習による運動学的および知覚的变化 板口 典弘（文学部）
- ・ 大規模言語モデルによる個別的説得研究アプローチ 平石 界（文学部）
- ・ オキシトシン分泌を促す乳児特徴臭が養育者へ与える効果：行動、自律神経、脳活動 皆川 泰代（文学部）

第3部 価値創造性クラスター （座長：山口 徹） 16:05~17:05

- ・ 境域を問う—ドイツ国共和制期のデザイン行為 後藤 文子（文学部）
- ・ 地図型アーカイブの作成を通じた戦争遺跡をめぐる公共考古学的実践 安藤 広道（文学部）
- ・ 認知症への共感の新たな可能性 北中 淳子（文学部）

- ・ 閉会の挨拶 皆川 泰代（未来共生デザインセンター長）

主催：慶應義塾大学 未来共生デザインセンター

お問い合わせ：grcls.contact-group@keio.jp（森井・辻）

企画：未来共生デザインセンター運営委員